

第36回鴨川市史編さん委員会会議録

- 1 日 時 平成28年12月1日(木)
午前11時～午後2時
- 2 場 所 鴨川市文化財センター学習室
- 3 出席委員 4名(欠席1名・藤崎史正)
三浦茂一・中嶋八良・小谷善親・佐藤恵重
- 4 事務局 主査 高橋 誠
- 5 傍聴者 なし

6 本日の協議事項

- (1) 『江見のあゆみ』の校閲について
- (2) 次回会議の公開又は非公開について

開 会 午前11時

- (1) 事務局は、会議を開会する旨を告げ、4名出席・1名欠席で会議は成立している旨、また公開の会議だが傍聴の申込はなかった旨を報告。
- (2) 事務局より日程・資料の説明を行った。

議 事

事務局は、議長は鴨川市史編さん委員会設置条例第5条第1項の規定により、三浦委員長に願う旨を告げた。

会議録署名委員の指名

- (1) 議長は、会議録署名人の指定について諮る旨を告げた。
- (2) 議長は、鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項(会議録の作成)の規定により議長の指名で、全員異議なく次の委員を選定、承認された旨を述べた。

佐藤 恵重 委員

議事の説明

議長は、議事「(1)『江見のあゆみ』の校閲について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事(1)については、高橋主査が説明をした。

協議

議長は、これより議事(1)について質疑及び意見を求めた。

中嶋委員：明治の選挙制度の説明は、すでにされていたか。

佐藤委員：等級選挙について説明されている。

議長：人名の読みはわかるか。

佐藤委員：史料が新聞のためわからない。

中嶋委員：著名人でないのでよいのでは。

議長：読みを間違えてもいけないのでなしにする。

佐藤委員：「紀元の佳節」にフリガナをつけます。

議長：わかりにくいので「紀元節」にしましょう

議長：魚に関係する単語が漢字で書かれている。読むのが難しい

佐藤委員：フリガナをつける。

議長：「安房郡内一」は「安房郡第一」の方がわかりやすい。

佐藤委員：良い方のイメージに取られる。

小谷委員：悪いほうの一番という内容。

佐藤委員：「安房郡内でも」のみにし、順位はつけない。

中嶋委員：乗合馬車のところで、急に金額が出てくる。運賃のことだと思うが、はつきり入れた方がよい。

佐藤委員：「の運賃は」をつけ加える。

議長：史料からの引用文のかなづかいをどうするか。今の人たちでは、読み解くのに難しいのではないか。

中嶋委員：読者が読めなければ意味がない。

佐藤委員：そこだけフリガナをつけるか。

中嶋委員：現代かなづかいにしてもいいのではないか。

議長：変えた方が読みやすいので、現代になおす。

佐藤委員：この後の文章も現代文になおす。

中嶋委員：トンネルの長さが「尺」で出てくるが、長さのイメージがわかりにくい。

佐藤委員：メートルに換算して括弧書きで追加する。

佐藤委員：「怒涛に翻弄」にはフリガナをつける。

中嶋委員：引用文ではないのもっと簡単な言葉にしてよいのではないか。

佐藤委員：「難破して」と修正する。

中嶋委員：事件ごとに行頭に記号を入れたらどうか。

佐藤委員：『吉尾のあゆみ』にならって整理する。

佐藤委員：「美濃部るい」については、近世で書いているので合わせることで、ここは削除する。小題「事件その他」の「その他」も削除する。

中嶋委員：「救助と復興」のところで、会議を召集し自警団を組織した主体者がわからない。「村」だとは思いますが、村長なのかどうなのか。

佐藤委員：単に「村では」をつけくわえる。

小谷委員：「小舟付」「大船付」とあるが「舟」か「船」か、どちらか。

佐藤委員：はつきりとはわからない。どちらも使っている。現在は「舟」が多い。青木は該当するが、内遠野に「小舟付」はない。江見ならわかる。

小谷委員：現在の人の使い方に合わせてらどうか。

佐藤委員：「内遠野」を「江見」に、「舟付」は「舟」に統一します。

議長は、ここで会議を一時休憩とする旨を告げた。

休憩：午前11時50分から午後12時50分まで。

議事の説明

議長は、会議の再開を告げ、質疑及び意見を求めた。

議長：「御大典」の「御」はなくして、「敷く」は「施工する」がよい。

佐藤委員：「黄金製」はちょっとひっかかる。黄金製ではなかった気がする。「黄金色」にしておく。

中嶋委員：活かすのなら「黄金色」だが、色は不明。

佐藤委員：不確かなので、削除する。

小谷委員：観音は「神様」ではないので「仏様」に修正。

議長：『江見大東亜戦記』とはどういう本か。

事務局：江見在住の方がまとめた本。当時、役場に勤めており、戦争中の個人的な日誌から出来事をまとめています。

佐藤委員：「九頭竜様」と「浄照寺」は別の場所なので修正する。

中嶋委員：前の章と同じで、事件ごとに行頭に記号を入れてもらいたい。

議長：「兵の招集」という表現がひっかかる。誰がによって主体が変わる。

中嶋委員：はっきりわかりやすい言葉にしたらどうか。

佐藤委員：「一般市民にも軍の召集」に変える。

中嶋委員：ここでは「戦勝」、さきほどは「戦捷」と出てきたが、字の統一はどうか。

佐藤委員：先ほどの「戦捷」は奉納したものに書かれているので、別。

議長：陸軍少将や中佐が葬儀に参列しているが、何か事情があったのか。普通はありえない。

中嶋委員：福井少将は江見に住んでいたと記憶している。

事務局：原史料では、両名とも江見在住になっています。

中嶋委員：「威風堂々」は引用ではないので必要ない。

中嶋委員：「松根油」は過去に出てきたか。出てきていないのなら、今の人たちは何なのか、何のために採ったのかわからない。

佐藤委員：松根油について、まとめた説明を追加する。

佐藤委員：玉音放送の解説があったのは驚き。

中嶋委員：玉音放送の内容はよくわからなかった。解説も記憶にない。アナウンサーが天皇陛下の言葉を解説できるのか。

事務局：原史料では、ポツダム共同宣言の解説があったとなっています。玉音放送の解説ではないようです。

議長：原史料は何か。

事務局：『江見大東亜戦記』です。

議長は、ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(1)『江見のあゆみ』の校閲について」は、協議のとおり決した旨を述べた。

議事の説明

議長は、記事「(2)次回会議の公開又は非公開について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事(2)については、高橋主査が説明をした。

- ・平成28年2月頃に第37回市史編さん委員会を予定。
- ・内容は、引き続き『江見のあゆみ』の校閲について、次回会議の公開又は非公開について、である。

以上のような次第で、あえて非公開としなければならないような内容ではない旨を述べた。

協 議

議長は、これより、議事(2)について質疑及び意見を求めた。

全委員 ・公開で良いだろう。

議 決

議長は、議事「(2) 次回会議の公開又は非公開について」は、「公開」とすることに委員全員の賛成をもって決した旨を告げた。

議長は、以上で議事を終了した旨を告げた。

事務局は、その他について意見を求める旨を告げたが、意見はなく、本日の日程は全て終了したので、第36回鴨川市史編さん委員会会議の閉会を宣した。

閉 会 午後2時00分

以上会議の顛末を記し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成28年12月9日

署 名 委 員

委 員 佐藤 惠重